

利尻町が、変わる！

もくじ

- 新町長が決まりました 2
- 新町長所信表明 3~7
- 副町長選任・新採用職員 8
- 病院着任あいさつ 9
- 博物館発利尻情報 10
- 2014年版カレンダーを作しましょう 11
- 日常生活圏域ニーズ調査結果報告
(シリーズ④) 12~13
- 耳鼻咽喉科検診のお知らせ 14
- 自分を守る！津波対策 15
- 駐在所だより 16~17
- お知らせトピックス 18~20
- 議会報告 20
- 後期高齢者医療制度のお知らせ 21
- 洗濯機での事故に気を付けて 22
- 利尻町職員事務分掌一覧表 23
- わか家の愛とる
- 花いっぱい運動 24
- りしりの博物誌 25
- 街をひと歩き 26
- 消防だより 27
- ひいさる 28

利尻町の新町長が 決まりました

保野洋一氏利尻町長に当選

四月二十八日執行の利尻町長選挙は、四月二十三日告示、同日立候補の届出を締め切ったところ届出が選挙をする数を超えなかったため、公職選挙法の規定により届出のあった方を当選とすることに決定しました。

当選となった方は次のとおりです。

利尻町長

保野 洋一 氏



●町長 保野 洋一

昭和二十三年四月九日生

(六十五歳)

〔略歴〕町長一期目

昭和四十二年五月利尻町役場奉職、同五十五年四月港湾係長、同六十年四月財政係長、平成五年六月商工課長、同七年四月商工観光課長、同九年六月水産課長、同十三年五月保健福祉課長、同十七年五月総務課長、同十八年七月教育委員会教育長、同二十一年五月副町長、平成二十五年五月町長に就任。



利尻町民憲章

1. 元気で働き、豊かな産業のまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、明るく住みよいまちをつくりましょう。
1. 文化を高め、平和なまちをつくりましょう。
1. 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
1. 未来をつくる、子どもへのしあわせなまちをつくりましょう。

所信表明

このたびの利尻町長の任期満了に伴いまして、前町長の田島順逸氏が、数々の功績を残して、勇退されました。

そのあとを受け、そして、町民の皆様の温かいご理解・ご支援を頂き、町政を担当させて頂いたことになりまして、身の引き締まる思いであります。

もとより浅学非才で微力な者ではありますが、ふるさと利尻町の振興発展と町民の皆様の幸せのために、全身全霊を傾注して頑張る所存であります。

なにとぞ、議会の皆様、そして町民皆様のご理解・ご協力を心からお願ひ申し上げます。

さて、このたび町政を担当するにあたりまして、私の考え方を申し上げます。

昨年暮れの衆議院総選挙で、民主党政権から自民党政権に政権が交代いたしました。第二次安倍内閣が発足いたしま

した。この内閣では、政策の最大目標を経済回復と位置づけて、不況の最大要因とされるデフレと円高からの脱却などを目標に、「三本の矢」と言われる「大胆な金融緩和」、「機動的な財政出動」、「民間投資を喚起する成長戦略」の三つを基本方針に据えた「アベノミクス」といわれる経済政策を掲げながら景気浮揚対策を進めております。

その影響もあり、株価も大きく回復し、自動車業界等を中心に輸出産業関係が大きな収益をみるなど、一部には効果が出ているという報道もありますが、一般国民には、まだまだ好景気を実感できる状況ではなく、地方への影響も同様の状況であります。今後の当地域への波及効果を期待しているところであります。

一方、ご承知のとおり、本年度から改正離島振興法が施行されます。離島の存在が大きく見直される中、離島振興のための国の責任がはっきりと明記されたこともあり、その活用にも努めたいと思っております。

こうした状況の中、明るく元気なまちづくりのために「わが町の過疎化に歯止めをかけるために」を基本目標に据えて、七つの抱負を掲げました。

過疎化の防止については、本町にとって最も大きくても難しい課題であります。前述しました国の経済政策、さらには離島支援の政策等についても、情報を迅速にとらえ、公共事業も含めて本町の活性化のための事業等を主体的、自主的に計画するなど、過疎対策を積極的に進め、掲げた七つの抱負が少しでも多く、少しでも早く実施できるように最善を尽くしたいと考えております。

まず第一に「漁業と観光と商業を柱とした産業を推進し、雇用の機会を創出し、豊かな暮らしを実感できる町づくり」であります。

産業の振興・推進は、町の活性化を進める上で最重要課題であります。産業が推進・拡大されることによって、雇

用の場が広がり、定住人口の増にもつながり、人口減少に歯止めをかけることにつながるからであります。

基幹産業の漁業につきましては、これまでも「獲る漁業」から「育てる漁業」、そして「資源管理型漁業」への転換を図り、漁場整備、人工種苗、人工稚魚の放流等も行っておりました。

海洋環境や自然生態系の影響もあり好不漁が繰り返されておりますが、今後も改正離島振興法や離島漁業再生交付金制度の拡充とあわせ、ハード、ソフト両面から、一層の資源管理型漁業の強化と栽培漁業の推進を図り、更なる「獲る漁業」から「育てる漁業」への体制づくりを推進してまいります。

喫緊の課題である漁業後継者対策としては、本年度より「利尻町新規漁業就業者報償金交付事業」の対象を、町内転職者やUターン・Iターン者が組合員資格を取得した場合にも広げ、報償金の額の見直しを行うなど、積極的に漁業後継者の育成に努めてまい

ります。

また島外からの新規着業者の支援についても、内容見直しも検討したいと考えます。

磯付漁業の主流であるウニ、コンブの安定生産については、自然界の発生・成長に頼ることがほとんどであります。海水温上昇など海況の変化等にも注意しながら、講じるこ

とのできる対策や予防策がないか、検討することが必要になってまいりました。水産試験場や水産普及指導所等へも原因の究明・対策と、その研究について強く要請してゆきたいと考えます。

コンブ養殖漁業についても、年によって生産量変動する状況に変わりありません。安定生産に向けての努力は今後も必要であります。そのよう

な中、着業者の高齢化と経営体の減少、新規就業が増えるという課題があり、今後は漁組や漁業者が主体となつて共同化等に向けた取り組みも必要になるものと考えております。天然・養殖問わず、安定的に生産体制を堅持することが肝要と考えます。

漁船漁業についても、着業者が減少し続ける中、一定程度の水揚げ量を維持しておりますが、ナマコ漁だけに頼らず、他魚種を操業対象に拡大することを是非検討いただきたいと思います。また、沖合底曳網漁船の問題につきましても、漁協と連携しながら、資源管理等について北海道に対し強く要請してまいります。

また、漁業資源の増殖と管理のため、ウニ、ナマコの人工種苗生産、放流を継続し、漁場の生産力向上を図ってまいります。

今後とも漁協とともに十分連携して、漁業資源の適切な維持管理と増産を図ってまいります。このほか、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への交渉参加を政府が表明しております。現段階では不確定であるものの、今後の動向を注視し一層関係機関と協力連携を図りながら対応してまいります。

次に、港湾・漁港・海岸保全施設整備について申し上げます。

杵形港の整備につきましては、本年度からは、漁船漁業者やコンブ養殖業者の利用が多い実態にありながら、老朽化により利用制限等もされている内港マイナス三・五m物揚場の改良整備がはじまります。

また、本年度バリアフリー化対応施設の調査・実施設計を予定しております。漁業生産活動の拠点であります漁港整備につきましては、仙法志漁港の天蓋施設の完成を始めとして計画通りに整備が進められております。今後南防波堤の改良により荒天時における安全な係留が可能になるほか、特定計画の見直しと変更により、新規施設等の整備を加えながら早期完成を図られるよう国、道に働きかけてまいります。また、老朽化対策として進められる機能保全対策事業により新湊漁港及び蘭泊漁港、御崎漁港につきましても、一層整備が進められるよう引き続き努力してまいります。

観光業及び商工業について申し上げます。

観光については、既に風光明媚な風景を売り物にしての観光客誘致の時代は終わりました。近年、観光客のニーズは多様化しており、「何を求めているか」を的確にとらえ、対応していかねばなりません。利尻町においても、そのニーズに応えるため、観光協会と連携し、「地域おこし協力隊制度」も活用しながら、「利尻だからできる」「利尻ならではの体験メニューの充実を図るなど、「利尻でゆつくり島専科（しませんか）」を合言葉に、そして、まち全体が「ようこそ利尻島へ」の温かい思いを持ち、観光客が何度も訪れたいと思えるような魅力的で、思いやりのある優しい島づくりに努めてまいります。

今一度、地元利尻町の受入体制を振り返り、町内の観光関連業者はもとより、関係機関、団体などと充分連携のもと、観光力を更に充実させ、本町の重要産業として、観光振興を図ってまいります。

また、本年も大型クルーズ客船が外国船を含め十二回、

杵形港に寄港する予定であります。全道の主要港湾では、クルーズ船誘致の積極的な活動を展開しております。本町としても定着しつつあります日本のクルーズ船の杵形港寄港が更に増え、「北のクルーズは利尻島」を、よりしっかりと定着させるために町民皆様と歓迎ムードを高めてゆくことが必要であります。より一層本町の歓迎の熱意をしっかりと伝えることが必要であります。そのため全町的な歓迎組織を立ち上げたいと考えています。

商工業についてであります。人口の減少、漁業や観光などの主要産業の不振、加えて島外からのコンビニエンスストアの進出などが重なりまして、大変厳しい環境にあると思っております。商工会を中心に関係者の英知を結集し、商店街に、賑わいや元気を取り戻す商工業の活性化に向けて努力して頂きたいと思っております。

町としても、その支援に努めてまいりたいと思っております。

宿泊施設「ホテル利尻」の運営について申し上げます。本町の観光入込客数は、平成十五年度をピークに減少の一途を辿っており、依然厳しい状況が予想されております。こうした状況が、ホテル利尻の経営を直接的に厳しいものにしていくため、収支改善策として本年度も冬期間休業の四月から十一月までの八ヶ月間の期間営業を予定し、現場体制の見直しも検討したいと思っております。

また、昨秋公開の東映六十年周年記念映画作品「北のカナリアたち」により利尻礼文が再認知されたことに伴い観光入込客数の増加が予想されますので、旅行エージェントと連携しながら広告誌やインターネットなどを活用し、「主演キャスト等が宿泊したホテル」として、また炭酸水素の含有量は全国トップクラスと言われる源泉掛け流しの天然温泉「利尻ふれあい温泉」とのセットにより、一層の集客に努めるとともに利用者へのサービスの充実と経費節減に努めながら、収支バランスを充分

考慮した運営に努めてまいり
ます。

砕石事業所について申し上げ
ます。

今年度も厳しい経営環境で
はありますが、利尻・礼文の
公共工事の増加により販売量
の増加も見込めることから、
今後も適正な生産・供給体制
を維持し、より一層の経費の
削減に努めるとともに、職員
・従業員が一体となって事業
の推進を行うほか、今年度も
再生骨材製造事業の委託業務
を継続し、安定経営に向けて
最大限の努力を図ってまいり
ます。

また、従業員の健康管理に
も十分配慮しながら、防塵対
策、交通安全対策等について
も積極的な対応を図り、災害
・事故の防止にも万全を期し
てまいります。

農業について申し上げます。
平成二十三年度より実施し
ております薬用植物試験栽培
については、漢方薬の大半が
輸入に頼っており、昨今の世
界情勢からも国内、特に広大

な面積をもつ北海道での生産
が期待されております。引き
続き、関係機関からの指導を
受けながら、当町の新たな雇
用の場となるよう期待し、試
験栽培に取り組んでまいりま
す。

第二に「保健医療環境の充
実を図り、町民が健康で人を
思いやり温もりのある明るい
町づくり」であります。

高齢化が進行する中で、健
康の保持増進と福祉・介護・
医療の確保、充実は重要な課
題です。地域においては、社
会福祉協議会を中心に民生児
童委員や自治会、ボラティア
団体等と連携しながら、低所
得者や身体障害者、高齢者等
に対して、きめ細かな地域福
祉活動の充実を図り、思いや
りと温もりのある町づくりに
努めてまいります。

また、少子化対策として、
妊産婦の出産支援事業なども
継続してまいります
合わせて、国民健康保健事
業や後期高齢者事業の安定化
にも努めてまいります。

から、当町の新たな雇用の場
となるよう期待し、試験栽培
に取り組んでまいります。

特別養護老人ホームについ
て申し上げます。

ほのほの荘に入所しており
ます一人ひとりの心身状態に
適正に対応した介護福祉施設
サービスの充実を図り、地域
からの支援もいただきながら
地域に根ざした施設の管理運
営を進めてまいります。

また、介護職員が、迅速か
つ的確に対処することができ
るよう計画的、継続的に介護
職員への研修機会を創出し、
なお一層資質の高い介護職員
を育成し、入所者や利用者を
はじめ家族からも高い信頼を
得ることができるよう努めて
まいります。

次に、医療について申し上げ
ます。

利尻島国保中央病院は、こ
れまで島民の生命や健康を守
る唯一の中核病院として、そ
の役割を担ってまいりました。
スタッフ不足や経営困難を
抱える中、地域の医療要求に

応えるためには、たとえ不採
算地域であっても、必要な機
能であれば、議会や地域住民
の理解を得て、整備を図るこ
とも大切だと考えます。

今後も中核病院としての責
務を果たすためにも、島内の
医療機関や福祉・介護、地域
住民等との「連携」を大切に
し、病院と地域住民が一体と
なり「地域の中で医療を育て、
地域の中で医療を守る」体制
づくりが必要であると考える
おります。

第三に「自然を愛し、豊か
な自然環境を守り、自然との
調和を図り安全で安心して暮
らせる防災の町づくり」であ
ります。

自然災害に対し、防災対策
を強化していくことは重要で
あり、近年、大規模地震がい
つどこでも発生しうることや
施設能力を超える災害が各地
で発生している状況にありま
す。

海に囲まれたわが町で、災
害を一〇〇%未然に防ぐこと
は極めて厳しい実情であり、

被害軽減に資する減災対策を
早急に実施していくことが急
務となっております。そのた
め、ハード整備に加え、防災
情報の適切な提供や防災訓練
の実施により災害に対する安
全性を高めるなど、総合的な
ソフト対策の充実を図ってま
いります。

そして、対策を講ずるとし
ても行政単独で対策をとるだ
けでは減災は達せられないた
め、町民皆様と行政が協働で
地域の防災力を向上させる防
災まちづくりに努めてまいり
ます。

道路整備については、道路
は日常生活を営むうえで基本
的な社会基盤であるとともに、
地域経済の推進と発展に大き
な役割を果たしております。

本年度は津波等の対策とし
て重要な防災道路となる種富
九号線道路改良工事に着手し、
継続的に整備を進めてまいり
ます。また、除排雪等につき
ましても生活路線及び通学路
線の通行を確保し、安全で安
心して住民生活に支障が生じ
ないよう適切に行ってまいり
ます。

道路については、交通安全対策上で整備を進めている泉町地区の道路改良工事につき

まして、本年度から本格的に工事が実施されますので、早期完成に向けて要望してまいります。さらに、冬期間の交通確保上で新湊地区から栄浜地区間の防雪柵設置工事が実施されますので、引き続き早期完成に向けて要望してまいります。

また、北海道に要望しております日出町地区の道路改良整備につきましても整備促進が図られるよう引き続き要望してまいります。

次に、簡易水道、下水道について申し上げます。

の適正な維持管理に努めてまいります。

下水道につきましては、住環境の改善向上や海の汚染防止など地域における環境保全に大きな役割を果たしております。

本年度から計画区域内で管渠の未整備でありました地区の管渠布設工事に着手し、継続的に整備を進めてまいります。さらに、杵形浄化センターの長寿命化計画を策定し、

仙法志クリーンセンターにおいても住民生活に支障ないよう適切な施設の維持管理を進めてまいります。

次に、住宅について申し上げます。

住宅は、町民が健康で文化的な生活を営むうえで、重要な生活基盤となる施設であります。「公営住宅等長寿命化計画」に沿って、整備の目的

である良質な住宅を低額所得者に供給するという観点から入居募集の世帯数や状況を考慮し、適切な戸数の確保に努め、既存の住宅についても、維持・補修に努めてまいります。

次に、治山・治水について申し上げます。

近年の異常気象において、豪雨時に土砂流出災害の発生している現況を踏まえ、引き続き関係機関へ積極的に要請を続けるとともに、町としても計画的な事業の実施、土砂

流出時には、迅速かつ、的確に対応するよう今後とも努力してまいります。

北海道においては、タネトナイ川の火山砂防事業が、また、政治地区での、急傾斜地崩壊対策事業が継続して実施されます。

次に、みどりの環境づくりについて申し上げます。

森林については、本年度も引き続き、関係機関との連携を得ながら、除間伐や下刈、つる切り等の事業を実施してまいります。

また、町民の皆様とともに、潤いや思いやりのあるまちづくりを推進することを目的に実施されております「花いっぱい運動」は、全町民で取り組むまちづくり事業として、

歴史ある事業の一つとなっております。今後も、主催する関係団体の協力を得ながら、住みよい潤いのあるまちづくりを推進してまいります。

森林公園については、本年度も適切な維持管理に努めてまいります。

海岸保全事業につきましても、災害・防災上からも重要かつ急務であります。本年も引き続き仙法志本町地区、元村地区の海岸整備工事を実施してまいります。

第四に「未来をつくる子供たちが幸せで、郷土愛にあふれ、情操豊かな人を育み、文化を高める町づくり」であります。

本町の教育のめざす姿として、未来に夢を託す子どもたちの健やかな成長を育むために、人として優しく広い「心」

づくりと自立してたくましく生きる「自分」づくり、誰もが楽しく豊かに学べる生涯学習環境「学び」づくり、みんなの力でみんなが誇れる「ふるさと」づくりを基本姿勢としております。

町民一人ひとりが優しい心や思いやりの心、人を愛する心をもち、新しい時代を切り開くことができる心豊かたぐましい人づくりと、ふる里を愛し、豊かな心と文化を育む町づくりをめざしてまいります。

学校教育につきましては、利尻町の教育に関する様々な具体的施策の実施に努めてまいります。まず本年度は児童生徒の教育環境を整えるために、仙法志小学校耐震改修・大規模改造事業に着手します。

さらに中学校の統合について、条件整理のための準備を進めてまいります。

学校教育、社会教育が連携して、町民一人ひとりが、ふるさと利尻を愛し、豊かな心と文化を育む町づくりをめざしてまいります。

第五に「エネルギーの再生・活用を図り、町民とともに地域資源を生かした地域おこしなどが元氣よく展開される町づくり」であります。

本町では、「利尻町地域新エネルギービジョン」（平成十七年二月策定）において、再生可能エネルギー等の賦存量、利用可能量を整理し、再生可能エネルギーの導入・啓発に関する基本計画と施策の方向性を検討してきました。また、東日本大震災の教訓から、防災と再生可能エネルギーのあり方に関して検討を進めており、「動く蓄電池」としてのEV（電気自動車）の試験導入や北海道グリーンニューデール基金事業での公共施設への再生可能エネルギー設備と蓄電池導入の検討などを進めています。今後においても、再生可能エネルギーを活用した防災拠点の機能強化を進めるとともに、地域住民や事業者と連携し、地域の特性に合った再生可能エネルギーの導入を推進してまいります。

また、「第五次利尻町総合振興計画」の柱でもある「資源蘇生によるまちづくり」を実現していくためにも、海藻押し葉事業のような、あらゆる地域資源について、保存・

伝承するもの、蘇生・活用するものを認識し、行政、住民団体、事業者、NPO等が連携し、地域おこしなどが元氣よく展開される町づくりを目指し、地域おこし協力隊等、外部の力も取り入れながら定住人口の増加に向けた施策についても推進してまいります。

第六に「離島と本土との格差改善」であります。

離島と本土の格差是正については、本年度より改正離島振興法が本格的に施行されることとなり、離島の果たす国家、国民的役割の重要性を鑑み、国の責務において離島振興に必要な施策がとられるよう、法律に明記されました。今後は、拡充・強化された改正離島振興法に基づき、様々な離島振興施策、補助制度等が打ち出されてくると思えますが、本町においても、これらの振興策を積極的に活用し、離島と本土との様々な格差是正を積極的に進めていくとともに、移住・定住対策を大胆に行い、安心して住み

続けられる町づくりを目指してまいります。

また、国、北海道に対しては、格差是正を図るための離島振興策として、航路・航空路等の人や物資全般の流通コストの改善策を引続き強く要望するとともに、安心・安全な生活環境のための医療、防災・減災対策、将来を担う青少年の教育環境の改善対策、離島町の財政基盤安定対策などについても強く要望してまいります。

第七に「健全財政の堅持と地道でも夢を持った着実な郷土の発展」であります。

冒頭でも申し上げましたが、今、国内経済は、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」によって、回復に向けた動きが加速する可能性が高く、とりわけ今年度は国の政策の影響により速いペースでの経済回復が期待されるところであります。国内・国外における企業間競争の強まりや期待成長率の低迷などから、企業の設備投資や雇用・賃金の増

加には、なお時間を要するものと思われ、引き続き、賃金・物価のデフレ圧力は根強く残るものと思われれます。

その中で、本町の財政状況は、少子高齢化や主産業を取り囲む環境が依然として厳しい状況下であり、町税等自主財源の確保に苦慮しており、地方交付税をはじめとした国道からの依存財源に頼らなければならぬ現状にあります。歳出でも、公債費償還のピークは過ぎたものの、下水道をはじめとした特別会計への繰出しや、一部事務組合への負担が増加しており、要求される財政需要にこたえるためにも、財政基盤の強化が急務となっておりあります。

今後の、行財政運営の健全化に向け、財政状況の分析と評価を行い、効率的で効果的な行財政運営のもと、地域経済の活性化に財政資源を投入し、地道でも夢を持った郷土の発展に取り組んでまいります。

以上、町長就任にあたっての七つの主要項目に沿って、

所信を申し述べました。

本年は、平成二十一年度から始まりました第五次利尻町総合振興十カ年計画の丁度真ん中、五年目を迎える年で、平成二十六年からの後期五カ年分の見直しの年でもありますので、そうしたことも念頭に置きながら、町民の皆様のご希望やご意見をしっかりと正面から受け止めて、町民の皆様の幸せのために、限られた財源をメリハリをつけて、そしてより効率的に、「明るく元氣な町づくり」に向けて、全身全霊を傾注して努める覚悟でございますので、町議会の皆様、町民の皆様のご理解・ご協力を心からお願いを申し上げます。就任にあたっての御挨拶といたします。



副町長に田尻隆志氏選任される

●副町長

田尻隆志

昭和二十八年

五月八日生
(六十歳)



〔略歴〕副町長一期目

昭和四十七年四月利尻町役場奉職、平成三年四月広報交通係長、同五年六月保健係長、同九年六月利尻島国保中央病院総務係長、同十二年四月税務係長、同十三年五月教育委員会社会教育係長、同十五年四月総務課長補佐、同十八年七月議会事務局長、同二十一年六月総務課長、平成二十五年五月副町長に選任される。



川口亜希さん

- ①仙法志保育所（保育士）
- ②稚内市
- ③音楽鑑賞、ファッション誌鑑賞
- ④臨職で6年間お世話になりましたが、今年からまた気持ちを新たに、利尻町の子どもたちのために頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。



若澤 遥さん

- ①利尻町役場総務課
防災広報係・企画振興係
- ②静岡県静岡市駿河区
(高校・大学時代は清水区)
- ③手作り作家さんの作品収集。
北海道トーク。作品制作。
- ④経験や技術を活かした
「暮らし続けたいまちづくり」



中村健太さん

- ①利尻町役場保健福祉課
保健係
- ②北海道浦河町（3年毎に北海道中を転々として育つ）
- ③飛行機
- ④あの綺麗な山と同様、綺麗な町で生きていきたい。

新採用職員 紹介

よろしくお願ひします！
～笑顔で一生懸命がんばります！～

- ①勤務先
- ②出身地
- ③趣味
- ④抱負（一言）



井田 慎太郎さん

- ①利尻町役場 産業振興課
商工観光係
- ②利尻町仙法志字御崎
- ③とにかく体を動かすことが好きです。
- ④100年先も笑顔あふれる町づくりをしていきたいです。



齋藤 悠さん

- ①利尻町教育委員会管理係
- ②利尻町沓形字泉町
- ③音楽鑑賞
- ④町民の皆様の住みよい町づくりのため、精一杯尽力いたします。



北村 克利さん

- ①利尻町教育委員会社会教育係
- ②利尻町仙法志字本町
- ③バンド演奏
- ④利尻に貢献し、より良い町づくりのために全力を！

利尻島国保中央病院 紹介コーナー



利尻島国保中央病院 医長
藤井理美先生

着任のご挨拶

4月から赴任となりました藤井です。自治医科大学を卒業し稚内、羽幌、倶知安などで働いてきました。頑張りますのでよろしくお願いいたします。倶知安では泌尿器科で勤務し尿や腎臓、血液透析について学びました。おしっこのことなどで悩みがあればぜひ御相談下さい。

①勤務先 ②出身地 ③趣味 ④抱負(一言)



野口 藍さん

- ①利尻島国保中央病院 看護師
- ②神奈川県
- ③空手、食べる事
- ④利尻富士、登頂!!



奥田 邦広さん

- ①利尻島国保中央病院 看護師
- ②兵庫県
- ③魚釣り、旅行、読書
- ④利尻の特色を学びながら、仕事に活かして行きたい。



河野 千春さん

- ①利尻島国保中央病院 准看護師
- ②石狩市
- ③映画鑑賞
- ④安心・安全な看護を提供できるよう精一杯頑張ります。



笹谷 裕巳さん

- ①利尻島国保中央病院 医事係長
- ②稚内市
- ③スポーツ(野球・バレー)ドライブ
- ④まだまだ不慣れで、ご迷惑をおかけしていますが、がんばりますので、よろしくお願いいたします。



上村 忍美さん

- ①利尻島国保中央病院 臨床検査技師長
- ②東京
- ③“水曜どうでしょう”をみること!
- ④仕事をとおして、皆さまのお役に立てれば幸いです。よろしくお願いいたします。



吉野 邦夫さん

- ①利尻島国保中央病院薬剤師長
- ②余市町(自宅：札幌)
- ③釣り、登山、島内めぐり
- ④3月で退職した道職員時代に得た知識と経験を生かし、利尻島民の医療確保のため頑張ります。

●博物館発利尻情報●

●鎖国の日本・利尻島に

上陸したマクドナルドの墓碑

嘉永元年（一八四八年）七月二日に鎖国の日本に密かに入るために利尻島に上陸したラナルド・マクドナルド。その後、宗谷・松前を経て長崎に送られた。そこで一四人の通詞からの要求で英語を教えた。約半年の幽閉生活を過ごしてから嘉永二年四月二十七日、アメリカ船プレブル号に引き渡され、日本を去った。

その後、上海、マカオ、シンガポールを経て、オーストラリアのゴールドラッシュに加わった。そしてヨーロッパに出向きローマ、パリ、ロンドンをまわった。北アメリカに一八五三年に戻った。

一八九一年春にワシントン州コロンビア川流域のクルヴィル地区に丸木小屋を建てて定住生活に入ったが、一八九四年八月五日、同州

フェリー郡トロダの近くでこの世を去った。そこに建てられている墓碑には「ラナルド・マクドナルド 一八二四—一八九四 母ブリンセス・レイヴン 父アーチボルト・マクドナルドの

息子として生まれる。七つの海を渡りはるかな国々を訪ね歩いた冒険男、最後には素晴らしい故郷に戻る。サヨナラ アストリア、ヨーロッパ、日本、カリブー、オーストラリア、フォート・コルビル」と刻まれている。墓碑には世界を歩きつづけたマクドナルドの生涯が記されている。



田島順逸前町長 16年間 お疲れ様でした!

平成25年5月25日をもちまして、4期16年間利尻町長を務めました田島順逸前町長が、ご退任されました。

「雄大な利尻山など自然環境に恵まれた、愛すべきふるさとです。これからは一町民として地域に貢献していきたいです。」と、利尻町への思いを語りました。



今年もみなさんの写真で 2014年版のカレンダー を作しましょう!!

～地域みんなで利尻自慢!!～

今年も「利尻のここが好き!」「ここが自慢!」そういった
とおきの風景で2014年版の島自慢カレンダーを作ります。

みなさんのとおきの風景写真(画像)を募集しますので、
お気に入りの利尻の風景を自慢してください。完成したカレン
ダ―は町内各家庭に1部ずつ配布しますので、自宅に飾って
ください。また、利尻を遠くはなれて暮らすたくさんの知人・友
人に贈りたいとの声がありましたので、希望者には販売も予定
しています。(※部数に限りがありますので、無くなり次第終了となります。)



《募 集 要 領》

◎募集写真

◆作 品 利尻島内で最近撮影した風景(礼文島から利尻島を撮影したものも含む)で、
1月から12月のテーマにそれぞれ該当する写真とします。

◆期 間 平成25年10月15日まで募集します。

◆形 式 応募写真はJPEG形式で2MB以上に保存したデータで提出してください。

◎応募方法

別添の応募用紙に必要事項を記入の上、応募写真とともに提出してください。
ただし応募者1名につき、1テーマ月1枚(最大12枚)までとします。

◎採用決定

応募多数によりテーマ月が重複した場合等は、よりふさわしい写真を採用させて
いただきます。また、採用結果は11月初旬までに通知します。

◎応募先

利尻町総務課企画振興係
〒097-0401 利尻郡利尻町沓形字緑町14-1
☎0163-84-2345
E-mail kikaku@town.rishiri.hokkaido.jp

◎その他

- ◆応募は利尻島在住者及び利尻島に縁のある方に限らせていただきます。
- ◆被写体に人物が写っている場合の肖像権は、応募者の責任において承諾を得られたものに限りします。
- ◆応募作品は返却しませんので、ご了承下さい。
- ◆採用を決定した作品の著作権は、主催者に属します。
- ◆カレンダーには撮影者の氏名が記載されます。
- ◆応募者には完成したカレンダーを贈呈します。

◎一口メモ ～採用されやすい写真～

カレンダーに採用される写真の選考は、町職員の中から選考委員を選出して選考されています。
今回で4回目になる島自慢カレンダーの作成ですが、過去3回の選考に当たっては、次のよう
な意見がありましたので、応募の際は参考にして下さい。

- ・利尻らしい対象物の背景に利尻山があると、良い。
- ・「ダイナミックな利尻山」の写真は、良い。
- ・利尻らしい生活を表せると、良い。
- ・花の写真を採用したいが、「花だけ」では「利尻らしさ」が乏しい。
- ・海の写真で利尻らしさを表せると、良い。
- ・肖像権の問題はあるが、「人の動きがある写真」は、良い。
- ・夜の写真は難しいが、とても良い。



平成23年度実施

日常生活圏域ニーズ調査結果報告

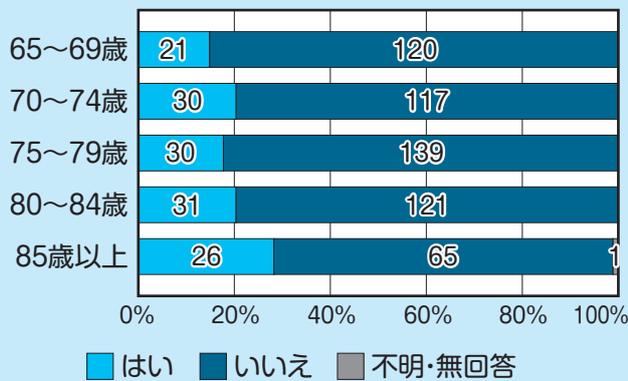
シリーズ

4

シリーズ④回目の最終回は平成23年度日常生活圏域ニーズ調査の結果から『食事』『口腔』の状況についてお知らせいたします。

～アンケート結果から～

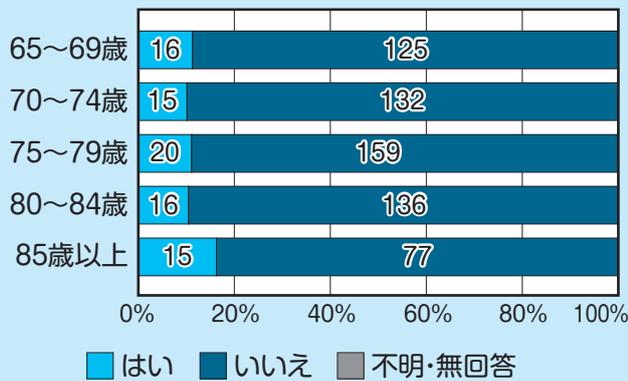
Q. 半年前と比べて硬いものが食べづらくなりましたか。(介護の必要がない方のみ・回答者701人)



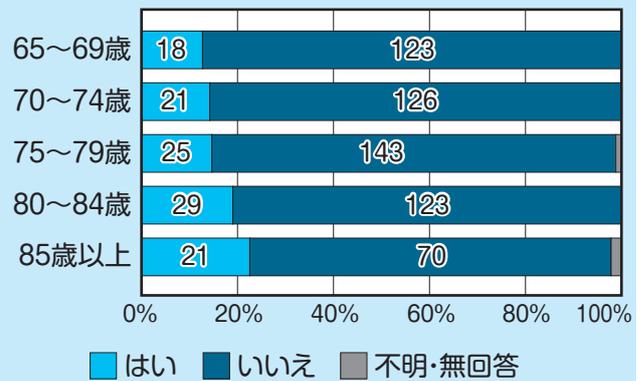
介護の必要がない方でも全体の20%前後の方が、半年前と比べて硬い物の食べづらさを感じています。



Q. お茶や汁ものでむせることはありませんか。(回答者711人)

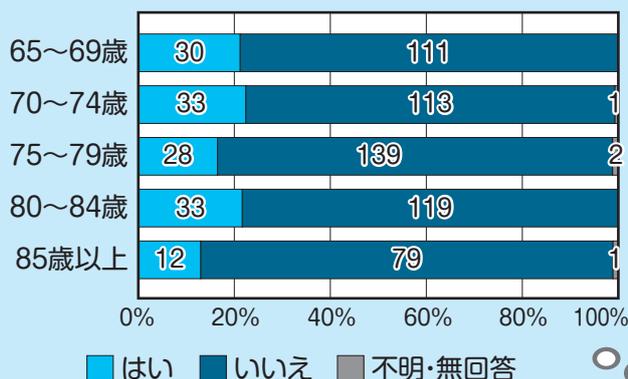


Q. 口の渴きが気になりますか。(回答者701人)



口の渴きの原因は、健康状態によるもののほか、薬物の副作用などもあります。

Q. 定期的に歯科受診(歯科健診を含む)をしていますか。(介護の必要がない方のみ複数回答・全体人数701人)



年に1度は歯科健診を受けるようにお勧めしています。何かあってからでは遅いのです。何事も『予防』が大切です。

～いつまでも自立した生活を送るために～

口を元気にしましょう

口は食べるときの入り口であるばかりでなく、話す、表情を豊かにするなど元気で楽しい生活のかなめとなります。口の状態が良くなると、かむ力や飲み込む力が強くなり、唾もよく出るようになって消化が助けられます。さらに、かむことにより脳が活性化し、認知症の予防につながるといわれています。

口の手入れと、口腔の体操は口を元気にする第1歩です。また、会話など口をよく動かしましょう。

『もちほもち屋に』とよく言いますが、食事やお口のことで専門家と言えば、栄養士や歯科衛生士などです。『もち屋にまかせる』のではなく、栄養士や歯科衛生士という、もち屋から耳寄りな情報を得て、ご自分の生活に役立てることも一つの方法です。総合健康相談でお待ちしておりますので足を運んでみませんか。

口の寝たきを予防するヒント

口の手入れ

- 毎食後、歯をみがく
- 歯と歯ぐきの境目に歯ブラシの毛先をあて時間をかけ丁寧に
- 歯だけでなく、舌やほおの内側もきれいに
- 入れ歯ははずしてみがく



両方あわせて行いましょう

口腔の体操



- ① 口を閉じたままほおをふくらませたり、すぼめたりする



- ② 口を大きく開けて舌を出したり引っ込めたりする



- ③ 舌を出して上下左右に動かす

日常生活圏域ニーズ調査の結果について全4回シリーズで、①調査結果全体報告、②運動について、③認知症とうつについて、④食事と口腔についてお知らせしました。どの項目も、いつまでも自立した生活を送るためにとても重要な内容となっています。今日からできることを一つずつ実行に移すことが、これからの生活を左右します。

今、気になっていることについて、一度相談してみませんか。利尻町役場(84-2345)、地域包括支援センター(84-3300)で保健師、管理栄養士、相談員、歯科衛生士がお話をお伺いします。

保健指導係・地域包括支援センター

平成25年度耳鼻咽喉科検診が実施されます！

お子さんの耳の状態 ご存知ですか？



お風呂上がりには耳掃除を欠かしたことはありません

➡ 医師の診察で大きなかたまりが出てきました。これは、綿棒などで耳を奥まで掃除することで耳あかやごみが奥におしこめられたものです。

寝ているときにいびきをかきますが、気になるほどではありません

➡ 子どものいびきの原因には、扁桃腺肥大などが考えられます。寝ているときに呼吸が止まる、寝返りをよくする、おねしょが多いなどがある方は一度検診を受けてみませんか？

たまたま受診したお母さんとお子さん。
とれた耳あかを見てびっくり……なんてことができました！
また、検診を受けて、扁桃腺の手術を決めた方もいらっしゃいます。



【日時・時間・場所・検診料金・申し込み期間】

平成25年7月24日 午後1：30 公民館
午後5：00・午後6：00 交流促進施設どんと
平成25年7月25日 午前8：00・午前9：00 交流促進施設どんと
検診料金：300円（高校生以下無料）
申込期間：平成25年7月1日より

～詳しくは、保健指導係（84-2345）までお問い合わせください～

利尻町地域包括支援センター

利尻町地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続することができるように高齢者の生活を支える役割を果たす総合機関です。介護予防や健康に関する相談、福祉の事など高齢者に関する様々なご相談をお受けしたり、必要なサービスにつないだり、権利や安全を守る制度のご案内などを行っています。

緊急の対応や相談が必要な場合には、職員が訪問することもできます。ぜひ、ご活用ください。



利尻郡利尻町沓形字緑町9番地2
一般電話 84-3300
知らせますケン 84-9020

東日本大震災の犠牲者の 死因は90.6%が溺死

(岩手県、宮城県、福島県) ※警察庁調べ H24.3.11現在

津波の特徴

- ①深海では**ジェット機並みのスピード**で進む! (水深5,000mで時速800km)
- ②何度も**繰り返して来襲**する! (第1波が最大とは限らない)
- ③津波は川を**遡上**する! (東日本大震災で宮城県では約50km遡上した)

津波に備えるポイント

- ①津波の来襲を想像してみよう (深夜だったり、吹雪の中だったり…)
- ②**家族会議**で話し合い**避難訓練**にも参加しよう (避難場所の確認、家族で防災訓練に参加など)
- ③避難の妨げにならないように**家具の転倒防止対策**をしておこう (L字金具などで家具固定)
- ④避難に備えて**非常持出品を準備**しておこう (防災グッズを有効活用しよう)

津波からの避難のポイント

- ①地震の揺れが小さくても津波が来る場合がある (明治三陸津波地震では震度3でも大津波)
- ②「地震や津波はない」という俗説は信じない
- ③**引き潮がなくても津波は来る**
- ④「遠く」よりも「高く」へ
- ⑤原則として、**車は使わず徒歩で避難** (車ごと津波にのみ込まれて命を落とした方が多かった)

忘れていませんか?

利尻町に転入された方で、防災グッズをまだ受け取っていない方は、利尻町役場までお越し下さい。また、防災グッズは「貸与」のため、転出・死亡の際には役場窓口への返却となります。



●詳しくは 知らせますケン
☎84-2345 (総務課防災広報係) まで

駐在所だより



稚内警察署 沓形駐在所
鯨井 義和 さん

《着任のご挨拶》

4月の異動で紋別警察署滝上駐在所から沓形駐在所に勤務させて頂くことになりました。これまで旭川中央警察署、紋別駐在所で勤務し、3カ所目の勤務地となります。家族は妻との二人暮らしです。

今後は、事件や事故の発生を未然に防止し、地域や住民のみなさんの安全・安心を守れるよう頑張っていきたいと考えています。名前はすぐに覚えて頂けると思いますが、顔も早く覚えて頂けるよう活動していきますのでよろしくお願いいたします。



稚内警察署 仙法志駐在所
志津 男 さん

《着任のご挨拶》

4月から仙法志駐在所で勤務しております志津男です。

名前の読みは「しづ・だん」です、よろしくお願いいたします。

駐在所勤務については初めての経験で、悪戦苦闘中です。

妻と2人の家族ですが、仙法志にお住まいの皆様からは温かく接していただいております、感謝の毎日です。

事件・事故発生の防止活動、特に詐欺の被害に遭わないよう、地域の方々に色々な機会を通してお伝えしていこうと思います。

1. 夏休みにおける少年の非行・犯罪被害防止の有害環境の浄化 ～ 考えて 大切な 自分の未来 ～

●万引きは犯罪！

万引きをすることはもちろん、見張、命令、盗んだ品物をもらう・買うことも犯罪です。

●たばこは非行の入り口！

たばこは、ゲートウェイドラッグ(入門薬物)。未成年のうちから、たばこを吸っていると、たばこの成分に身体が慣れて強い刺激を求めようようになります。

その結果、覚せい剤や大麻等に手を出してしまうこともありますので、未成年のうちから、たばこは絶対に吸わないようにしましょう。

●インターネットに危険がいっぱい！

インターネットサイトには、心のスキを狙った恐ろしい罠が潜んでいます。

出会い系サイトやゲームサイト、コミュニティサイトを利用して犯罪被害や性的被害に遭う人が増えています。

インターネットサイトを安易に利用したり、サイトで知り合った人とは絶対に会ってはいけません。

【保護者向け】

●非行防止は家庭から！

・家庭は最も身近な社会です。

社会のルールやマナーを守らせ、善悪のけじめをつけさせましょう。

・インターネットを利用して犯罪被害に遭わないために、家庭でのルール作りや情報モラルについて家族で話し合いましょう。

●こんな兆候は要注意！

・行き先を言わずに外出したり、帰宅時間が不規則になり、夜遊びや外泊が多くなった。

・親に隠れて長時間携帯電話を利用したり、知らない人からメールが届くようになった。

●子どもの携帯電話にフィルタリングサービスを！

- ・子どもを犯罪被害から守るために、子どもの使用する携帯電話に有害サイトへのアクセスを制限できるフィルタリングサービスを利用することが法律で定められています。

2. 水難事故防止

～海や川 危険がいっぱい ご用心～

- 波の力で倒されたり、沖に流される危険があります。
水辺で遊んでいる子供の近くにいる、目を離さないようにしましょう。
- 海水浴場などの指定された場所で、自分の技量や体力に応じて泳ぎましょう。
- 体調不良時や飲酒しての遊泳は事故のもとです。
無理をしたり、お酒を飲んで泳がないようにしましょう。
- 釣りをするときには、救命胴衣を着用して安全な場所を選び、高波時の防波堤、流れの速い岸辺や滑りやすい岩場などはやめましょう。
- 水上オートバイは、遊泳区域に入らないことと、遊泳者などに注意するなどの安全航行に努め、救命胴衣を必ず着用しましょう。

3. 覚醒剤等薬物乱用の防止

～薬物、ダメ。ゼッタイ。～

覚醒剤や大麻などを乱用すると、身体や精神がボロボロになり、人間らしい生活を営むことができなくなるばかりか、場合によっては死に至る場合もあります。

また、幻覚や妄想による殺人事件や、薬物の購入代金欲しさのため強盗事件などを犯したり、重大な交通事故を引き起こしたりするなど、乱用者本人のみならず、周囲の人、さらには社会全体に対しても取り返しのつかない被害を及ぼしかねません。

一度だけという好奇心や遊びのつもりでも、薬物の強い依存性によって、自分の意思では止めることができなくなります。

また「合法ハーブ」、「お香」、「入浴剤」等と称されて販売されている、非合法・脱法ドラッグについても、麻薬成分が混入していたり、人体に悪影響を及ぼす薬物が含まれている商品が多く、これらを吸引して意識障害や呼吸困難を引き起こし、救急搬送される事案が全国各地で多発、稚内でも発生しております。

4. 夏の交通安全運動の実施

～ペルトした？ みんなしたよが あいことば～

●「夏の交通安全運動」が実施されます！

■実施期間

7月10日(水)～7月19日(金)の10日間

■実施の重点

- (1)観光や夏型レジャー等に伴う交通事故防止
- (2)子どもと高齢者の交通事故防止
- (3)二輪車・自転車乗用中の交通事故防止
- (4)全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (5)交差点の交通事故防止

■「自転車安全利用五則」を守りましょう！

- (1)自転車は、車道が原則、歩道は例外
- (2)車道は左側を通行
- (3)歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- (4)安全ルールを守る
 - ・飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ・夜間はライトを点灯
 - ・交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- (5)子どもはヘルメットを着用

●夏の交通安全運動のポイント

気温が高くなる夏は、学校や職場の夏休み時期となり、観光やレジャーが最盛期を迎え、活動範囲が広がることから、長距離運転による疲労や暑さ等が重なって注意力が散漫となり、居眠り運転による正面衝突事故や車両単独事故が増加する傾向にあります。

- (1)暑さや疲れによる集中力の低下に十分注意して、眠気を感じたら早めに休憩を取って気分転換を心がけましょう。
- (2)スピードの出し過ぎ、無理な追越しは絶対にやめましょう。
- (3)行案に出掛けるときは、事前に渋滞等の交通情報を確認して余裕のある運転計画を立てましょう。

稚内警察署 ☎0162-24-0110

●困りごと、相談、要望、苦情等は

警察相談電話

#9110 または ☎0166-34-9110

お知らせトピックス

海上保安庁職員募集のお知らせ (海上保安大学校・海上保安学校)

学校名	応募方法	受付期間
海上保安大学校	インターネット	8月29日～ 9月9日
	郵送・持参	8月29日～ 9月6日
海上保安学校	インターネット	7月23日～ 8月1日
	郵送・持参	7月23日～ 7月31日

◆お問い合わせ先

〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3
海上保安庁 ☎03-3591-6361

ハローワークでは 「若者応援企業」募集中です!

この事業は、若者の採用・育成に積極的な企業様に「若者応援企業」を宣言していただき、ハローワーク及び北海道労働局が積極的に企業のPR等を行います。

若者応援宣言時に提供いただきましたPRシートは北海道労働局のホームページ及びハローワークにて公開し、若年求職者（新規学校卒業者）に提供いたします。

若年者（新規学卒者）の雇用をお考えのときには「若年応援企業」を宣言し、企業アピールをしてみませんか！

◆詳しい内容等のお問い合わせは、お近くのハローワークへ

自衛隊採用試験案内

種目（受験年齢）	採用種目の概要	試験日	受付
自衛官候補生 (男子) [18才～27才未満]	3ヵ月後自衛官へ任官。一生涯の仕事として勤務又は、民間就職希望者は一定期間の勤務で様々な就職掩护施策等を受けます。	受付時にお知らせ	随時
一般曹候補生 [18才～27才未満]	部隊勤務を通じて、その主として活躍する隊員を育成。 ※初任給 159,500円以上 ※賞与年2回	1次試験 9月16・17日の いずれか1日	8月1日～ 9月6日
航空学生 [18才～21才未満]	航空機のパイロットなどへ。部隊配置後航空手当60%以上 ※初任給 159,500円以上 ※賞与年2回	1次試験 9月21日	8月1日～ 9月6日
高等工科学校生徒 (一般) [15才～17才未満]	中学校卒業者（見込含む）の男子が対象。約3年間は、防衛省職員（非自衛官）となり3学年終了時に自衛官に任官します。	1次試験 平成26年1月18日	11月1日～ H26年1月10日
その他採用試験種目	防衛医科大学校看護学科・防衛大学校学生・高等工科学校生徒 他		

◆お問い合わせ先：自衛隊稚内地域事務所 ☎0162-23-2721

※給与等は平成25年4月現在

平成25年度刑務官採用試験実施について

人事院主催による刑務官採用試験（刑務A・刑務B・刑務A社会人・刑務B社会人・刑務A武道・刑務B武道）は、本年9月22日（日）に全国一斉に実施します。

●インターネット申込み 7月23日（火）9:00～8月1日（木）（受信有効）

<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>

●郵送又は持参による申込み 7月23日（火）～7月31日（水）

受験申込書は6月19日（水）から交付しています。

◆お問い合わせ先：法務局矯正局 〒100-8977 東京都千代田区霞が関1-1-1 ☎03-3592-7369
法務局ホームページ <http://www.moj.go.jp/>

北海道職業能力開発大学校 オープンキャンパス2013

8月3日(土) 11:00~15:00 (受付10:30~)

- ・入試要項・教育プログラムの説明・学食体験
- ・全体見学or体験実習

参加申込締切日/7月29日(月)

参加申込方法/締切日までに電話、FAX、
E-mailのいずれか
(高校名・お名前・希望コースを明記してく
ださい)

◆お問い合わせ先：北海道職業能力開発大学校
〒047-0292 北海道小樽市銭函3丁目190番地
学務課 TEL：0134-62-3552
FAX：0134-62-2154
E-mail：o-campus2013@hokkaido-pc.ac.jp

国立宮古海上技術短期大学校 学生募集

選抜区分	受付期間
AO入試試験	7月29日~8月16日
自己推薦入学試験 (第1回)	9月30日~10月18日
自己推薦入学試験 (第2回)	11月11日~29日
一般入学試験	12月16日~1月17日
共通選抜入学試験	1月20日~2月7日

◆オープンキャンパス (体験型)

7月27日、9月7日

◆お問い合わせ先

〒027-0024 岩手県宮古市磯鶏2-5-10

国立宮古海上技術短期大学校教務課

☎0193-62-5316

働くみんなに、
今こそ確かな安心を

中退共済

◆ 協会の一部を国が保証
◆ 協会は全額非課税
手数料も不要
◆ 外都府立型なので
管理が簡単
◆ パートさんの加入もOK

詳しくはホームページへ

中退共 検索

〈独〉勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
TEL.03-4507-1234 FAX.03-4503-4211

6月23日(日)『稚
内・利尻町沓形会
(惣万祐吉会長)総
会・親睦懇親会』が
地元利尻町(ホテル
利尻)にて行われ、



保野町長や藤井議長をはじめ、町民の方々も参加
して大変盛り上がりました。また、この席上で
「ふるさと応援寄附」を頂きました。

北海道交通安全指導員 連絡協議会長表彰

多年にわたり、交通安全指導と交通事故防止に尽力され交通安全運動の推進に貢献された
功績が認められ、北海道交通安全指導員連絡協議会長から表彰されました。



仙法志字御崎
高橋百合子氏



沓形字泉町
保野耕二氏



仙法志字御崎
酒井章氏

気象台一口メモ

室内でも熱中症になるって知っていましたか!

室内でも熱中症になるって知っていましたか。実は熱中症の3割の方が室内で発症しています。では、どういう時に熱中症になりやすいのかというと、「気温が高い」「湿度が高い」「風が弱い」「日差しが強い」といった時になりやすいのです。

最近では、節電対策で冷房などの使用を控えたり、温度設定を高め設定しているところもあり、職場でもパソコンやサーバーのある場所、室内でも窓際などは炎天下に近い状態になっていることがあるからです。



気象台では、毎日5時、11時、17時の天気予報で、今日・明日の稚内の最高気温を予想するほか、宗谷地方で当日の最高気温が31℃以上になることが予想される場合には、朝5時から12時までの間に「宗谷地方高温注意情報」を発表して、熱中症に対する注意を呼びかけています。

また、気象庁ホームページでは、今日・明日の最高気温や最低気温の予報分布も見るすることができます。

これらの、情報を参考にして、熱中症に十分注意していただくとともに、電力需給ひっ迫時の対応にもご活用ください。

なお、熱中症は、湿度やスポーツ等による体調変化、水分補給の状態、健康状態等により、必ずしも気温が高い状態でもなくとも発症することがあります。熱中症の予防などについては、関係機関へのホームページなどをご参照ください。

- 気象庁 暮らしに役立つ情報 熱中症に注意のアドレス
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>
- 気象状況・天気予報の確認先 稚内地方気象台技術課
☎0162-23-2678
- 稚内地方気象台ホームページアドレス
<http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html>
- 問い合わせ先
稚内地方気象台防災業務課 ☎0162-23-2679)



議 会 報 告

【第2回臨時会】

保野新町長となって初の議会、第2回町議会臨時会が5月28日に招集され、会期を1日とし同日閉会しました。

町長の就任にあたっての所信表明のほか、審議された内容は次のとおりで、原案のとおり同意されました。

【同 意】

◆副町長の選任について

○次の者を、利尻町副町長に選任したいから、地方自治法第162条の規定により、議会の同意を求める。

利尻町杓形字泉町

田尻隆志氏

(詳細は8Pをご覧ください)



後期高齢者医療制度のお知らせ

～保険証(被保険者証)の一斉更新について～

■ 保険証が新しくなります

有効期限が1年間になり、毎年更新することになりました。

現在ご使用の保険証の有効期限が平成25年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。

7月中旬に新しい保険証を交付しますので、お手元に届きましたら、お持ちの黄色の保険証を破棄し、ピンク色のものをご使用ください。

- 新しい保険証の有効期限は、平成26年7月31日までです。
- 紛失したときや、汚れたときは再交付しますので、利尻町役場保健福祉課保健係までお申し出ください。



新しい保険証の色はピンク色です

■ 減額認定証(限度額適用・標準負担額減額認定証)も新しくなります

現在ご使用の減額認定証の有効期限が平成25年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。有効期限は保険証と同じく1年間です。

引き続き交付対象に該当する方は、7月中旬に保険証と共に減額認定証を交付しますので、8月1日からは、お持ちのオレンジ色の減額認定証を破棄し、水色のものをご使用ください。

新たに必要となる方は、下記の交付要件に該当することをご確認の上、利尻町役場保健福祉課保健係へ申請してください。

減額認定証の交付対象…次の区分Ⅰまたは区分Ⅱに該当する方

区分Ⅱ	世帯全員が住民税非課税である方
区分Ⅰ	世帯全員が住民税非課税である方のうち、次のいずれかに該当する方
	世帯全員の所得が0円の方 (公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下の方)
	老齢福祉年金を受給されている方

新しい減額認定証は水色です



■ 医療費通知の発行を希望される方へ

被保険者の皆様に健康や医療に対する理解を深めていただくために、医療費を半年ごとにまとめ、発行をご希望の方を対象に医療費通知を送付しています。

なお、次の発行は、9月(平成25年1月～6月の医療費を対象)におこないます。

● 新たに発行をご希望の方はご連絡ください

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合または利尻町役場保健福祉課保健係へご連絡ください(電話でのご連絡だけで手続きできます)。

- すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方には、継続して発行しますので、再度のご連絡は必要ありません。
 - この通知を受け取られたことにより、申請などの手続きをされる必要はありません。
- ※この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

● お問い合わせ先

- 北海道後期高齢者医療広域連合
〒060-0062 札幌市中央区南2条西14丁目国保会館6階 ☎011-290-5601
- 利尻町役場 保健福祉課保健係 ☎84-2345



指を大けがする 事故に気を付けてください!!



**洗濯・脱水槽が完全に
停止してから洗濯物を
取り出してください。**

止まる前に取り出そうとすると、
洗濯物が指にからまり
大けが(時には指を切断)を
します!!

**ゆっくりした回転でも
危険です。**



こんな時は故障のおそれがあり危険です

- 1 脱水途中でフタを開けても15秒以内に洗濯・脱水槽が止まらない時。
- 2 フタロックが解除されても(脱水終了音が鳴っても)、洗濯・脱水槽が止まらない時。

速やかにご購入の販売店もしくは、下記問い合わせ先までご相談ください。
ただし、機種によっては修理ができない場合もございますので、ご了承ください。

一般社団法人 日本電機工業会 洗濯機安全啓発活動 参画会社 お問い合わせ先

会社名	電話番号
LG Electronics Japan株式会社	0120-813-023
シャープ株式会社	0120-078-178
東芝ホームアプライアンス株式会社	0120-584-488
ハイアールアクアセールス株式会社	0120-880-292
パナソニック株式会社	0120-871-353
三洋電機製は	0276-61-9826
日立アプライアンス株式会社	0120-3121-11
三菱電機株式会社	0120-139-365

※受付時間 9:00~17:00 (土日・祝日は除く)

※お問い合わせの際に提示された個人情報は、
当目的以外には使用致しません。



※一般社団法人 日本電機工業会ホームページ
<http://www.jema-net.or.jp/>

利尻町職員事務分掌一覽表

平成25年6月10日 現在

町長 保野 洋一

副町長 田尻 隆志

教育長 川端 一輝

総務課	課長 佐々木 日出雄 課長補佐 小玉 喜衛	総務係	係長 (小玉 喜衛)	主査 柴田 修子 主任 高松 宏樹 主事 小坂 勝哉・一橋 知穂・神田 朱莉 若澤 遥
		財政管財係	係長 新谷 司	
		防災広報係	係長 佐藤 弘人	
		企画振興係	係長 宮道 信之	
		税務係	係長 佐野 洋之	
保健福祉課	課長 葛西 圭吾 (沓形保育所長・高齢者生活福祉センター所長・地域包括支援センター長) 課長補佐 根上 光	町民係	係長 宮道 真由美	主任 佐藤 陽子 主事 竹口 和人・石川 拓哉・濱田 陽介 安達 咲・中村 健太 保健師 工藤めぐみ 管理栄養士 町村 美咲 保育士 小坂加奈絵・浜岸 貴子 主任 戸田美穂子 保育士 川口 亜希 生活相談員 石垣 司 (鎌田 美鈴) 主任保健師 小松友紀恵・(工藤めぐみ)
		福祉係	係長 (根上 光)	
		保健係	係長 今野 淳	
		衛生施設係	係長 中川 広之	
		保健指導係	係長 鎌田 美鈴	
		沓形保育所	主任保育士 対馬 紀美子	
		仙法志保育所	主任保育士 八講 有子	
		高齢者生活福祉センター		
産業振興課	課長 八講 博之 課長補佐 小杉 和樹	水産港政係	係長 (小杉 和樹) 主査 宮田 秀彦	主事 神田 健・谷口 亮・平沼 利弥 井田慎太郎 技師 星田 友和
		商工観光係	係長 張間 静也	
		建築農林係	係長 [矢田 秀喜]	
建設課	課長 熊谷 幸男	土木係	係長 中川 篤志	主事 小坂 勝敏・堀 啓祐
		上下水道係	係長 澤谷 敬	
		下水道技術係	係長 (熊谷 幸男)	
仙法志支所	支所長 平等 清文 (仙法志保育所長・高齢者共同生活施設所長)	次長 北島 政幸 主任 尾上 幾美		
宿泊施設	総支配人 (田尻 隆志)	支配人 柴田 昭夫 調理長 井田 作 主事 塚本 雅幸・稲葉 康平		
砕石事業所	所長 村谷 邦彦	主任 三上 信悟		
特別養護老人ホーム	所長 斉藤 喜好	総務係長 佐藤 和久 介護業務主任 大窪 知史 生活相談員 俵谷 隆浩・山本 侑矢 主任看護師 佐々香代子 看護師 石橋 昭代 栄養士 松谷つぐみ 介護福祉士 八木 亜紀・入井由美子・杉田有希子・高田 初実・山本 藍・太田 雅寛 岩田 祐弥		
会計管理者	安藤 敏朗	出納係	主任 長内さゆり	
教育委員会	教育課長 西谷 榮治 (学芸課長)	管理係	係長 対馬 讓 技手 新浜 直樹 主事 齋藤 悠	
		社会教育係	係長 関根 智敏 主査 古屋 恵一 主事 北村 克利	
		学校公務補	仙小 杉森満紀子 沓中 加藤 敏文	
		博物館	学芸係長 佐藤 雅彦	
議会事務局	局長 飯田 敏一	主事 木村 祐城		
病院組合	事務部長 小坂 実	庶務係	係長 鎌田 正吾 主任 工藤 雄介	
		医事係		

※ は6月10日付け異動 ※ は6月10日付け昇格
 ※ は6月10日付け新規採用 ※ は7月1日付け異動 ※ () は他係を兼務

わが家の愛どる



あい

りしりんが
わが家の愛どるを
紹介するよ♪

今回は、2人のお友達を紹介するよ!

長谷川 廉れんくん
(4さい)



父：真也

【お父さんから】

日に日にたくましくなっていく廉。日に日におしゃべりが止まらなくなっていく廉。心の広い強く優しい男になってね。

泉 圭輔けい すけくん
(4さい)



父：誠一／母：祐美

【お母さんから】

小さく生まれてきた圭ちゃん。今では丈夫で元気いっぱい！毎日ママは大変です。人に優しく、たくましい男の子になってね。

花株植栽事業

花いっぱい運動

利尻町みどり豊かなまちづくり推進委員会では、本年も花がいっぱいの潤いのあるまちづくりを推進するため「花いっぱい運動」を5月25日実施しました。

当日は天候にも恵まれ、沓形・仙法志両地区で約380人の参加をいただきました。



また、本年も、公益財団法人 北海道市町村振興協会からの助成が決定しているほか、稚内建設管理部利尻出張所、北辰建設コンサルタント(株)、三井住建道路(株)からの花株等寄贈により10,200株を植栽することができました。

この運動にご参加、ご協力いただいた方々に深く感謝を申し上げますとともに、今後も当推進委員会事業に対するご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

(利尻町みどり豊かなまちづくり推進委員会)

野球好きなの集まれ

杓形中学校初代校長の三宅栄作先生が、自分が中学二年生だった時に「野球好きか、好きなの集まれ」と呼びかけてくれたんだ。野球の真似事、草野球ともいえなかったのをしていたから、やってみたくて思ってしまったのが私の野球人生の始まりだった。

そこからグラウンドで練習。だれも本格的に野球なんてしてなかったから、ボールを投げる、受ける、バットを振るの基本からの練習だった。中学三年生のときの、第一回の島内中学校野球大会が杓形中学校グラウンドであった。初めての大会ということもあって野球を見に来る人達の数はずごかった。負けられないと思って、夢中で試合したただけで

利尻の語り (243)

野球は

ホームベースから

語り 平田 寛さん

自分の打撃や守備がどうだったのかは覚えていないんだ。でも優勝したということだけは知っている。島内中学校野球大会で優勝したこともあってか、杓形漁組との試合でも勝ったことは記憶にある。

ホームベースから

杓形中学校野球チームが組まれ私がキャッチャーだったのは三宅校長先生が決めてくれたようだった。キャッチャーやっていると、サインを出してピッチャーが投げたボールをコースごとにどう受け取るか、試合展開で三点を基本に、勝っているとバッターを攻めるサイン、負けているとアウトローのボールを基本に打たれないようにすること、一塁にランナーがいるならば二塁を踏ませないように肩の弱い私でもオーバーハンドで

しつかり投げて盗塁を阻止するようにすること、三点以内で競っている試合ならばバッターに攻めてチームを護ることを思いながらのキャッチャー魂だった。サインとして覚えてるのは指一本がストリート、二本が外へのカーブ、三本が内から入るカーブだったはずだ。キャッチャーミットもコースにかまえてしまうとわかられるから、ピッチャーが投げた瞬間にミットを動かす。

いずれにしても、キャッチャーが試合をつくるんだというところが、だんだんわかるようになってきた。だからこそキャッチャーは試合の要となるんだという意識がいつも自分の中にあつた。

このことは杓形の一般社会人チームに入ってもキャッチャーだったんで、試合に臨むことは中学校との時の考えとかわらずだった。

現役を退いて、審判員として利尻町の野球にずっと関わってきた。審判としての試合の要になるためのあり方は何

かをいうことも自分なりに考えてジャッジしていた野球は自分の人生の要だった。

語り 平田寛さん 昭和九年三月二十九日、仙法志久連に生まれ、杓形で家業の桑原商店を継ぐ。探訪 平成二五年六月五日



第一回「島内中学校野球大会優勝の杓形中学校野球チーム 昭和23年9月3日

前列右から三塁手柏木輝夫、一塁手永井卓、左翼手長谷川勝美、捕手平田寛、三塁手竹村久、中堅手寺田隆之、遊撃手小枝秀利、後列右から班員常磐井武紀、補欠本堂勇、常磐井武茂先生、監督三宅栄作校長先生、右翼手柴田利春、奈良嘉裕先生、補欠杉浦優、投手原田繁、酒井郁夫先生、班員金田明良

4月25日・26日
海上自衛隊
多用途支援艦
『すおう』寄港

(沓形耐震岸壁)



5月2日
ウルフル
ケイスケ
(スナックうに丸)

5月16日
奥野国土交通省
北海道開発分科会長来島

(利民島)



5月25日
カレドニアンスカイ
沓形港寄港

(沓形港)



5月25日 はしご酒

(沓形街中)



6月20日
利尻麒麟獅子の奉納舞

(長浜神社境内)



6月19日
沓中手作りホツケの燻製が
町長へ贈られました

(利民町役場町長室)

「消すまでは 出ない行かない 離れない」

林野火災注意!!

これからの季節は、空気が乾燥し、火災の発生しやすい日が続きます。山に入り、山菜採りなどに向かう人も居ると想いますが、入林した際は、タバコなど火の取り扱いには十分に注意しましょう。



★火災予防運動★

4/20



防火車両パレード

～日本ハムファイターズ 稲葉選手の贈り物～

「稲葉ジャンププロジェクト」より
小児用救急医療資機材が寄贈されました!



小児・幼児の救急搬送等があった場合
有効に活用させていただきます。



消防庁長官表彰伝達式

消防庁長官表彰

佐藤副団長 受賞

永年にわたり利尻町消防団員として、その職務に精励し一意専心消防業務に献身的努力を続けた功績が認められ、消防庁長官より永年勤続功労章が贈られ、田島管理者（前町長）から伝達されました。

佐藤副団長は、この栄えある受章に際し、「これからも利尻町消防団発展のため一層の努力をする覚悟です」とお礼の言葉を述べていました。



出動件数 火災2件 救急67件（平成25年6月30日現在）



ぴいぷる

(戸籍の動き) 2013.6.30現在

はじめまして! ベイビー おめでとう ございます!

5月17日 (仙)本町 みゆう 八木美優ちゃん(父:翔太)

5月25日 緑町 かいせい 高橋海晴くん(父:修二)



はっぴい・うえでいんぐ おめでとう ございます!

4月18日 緑町  八木 宏和 さん
福田 歩 さん

4月18日 御崎  井田 慎太郎 さん
平井 望美 さん

6月7日 新湊  岡田 伸也 さん
水原 亜紀 さん



おくやみもうしあげます

4月7日 富士見町 越智 義朗さん (56歳)
4月20日 鴛泊 常磐井武祝さん (63歳)
4月24日 日出町 筒井 春雄さん (80歳)
5月7日 久連 敦賀キクエさん (91歳)
5月18日 種富町 成田 薫さん (87歳)
5月24日 緑町 吉田 茂春さん (90歳)
5月30日 政泊 白取 キミさん (89歳)
6月6日 富士見町 三宮 キエさん (85歳)
6月13日 御崎 檜森 義正さん (88歳)
6月20日 御崎 檜森 正吉さん (86歳)

● ご厚情に感謝申し上げます ●

この度次の方々から愛情銀行に金一封及び物品が預託されましたので、紙上を借りてお礼申し上げます。

- 杓形字富士見町 加村絹枝様から 夫 加村 孝様の香典返しを廃して
- 杓形字富士見町 越智きくえ様から 夫 越智義朗様の香典返しを廃して
- 杓形字日出町 筒井範子様から 夫 筒井春雄様の香典返しを廃して
- 杓形字日出町 多々見洋子様から 夫 多々見輝夫様の香典返しを廃して
- 杓形字神居 前川修士様から 兄 札幌市西区 前川義美様の香典返しを廃して
- 杓形字緑町 常磐井武榮様から 父 利尻富士町 鴛泊 常磐井武祝様の香典返しを廃して
- 仙法志字久連 敦賀 勉様から 母 敦賀キクエ様の香典返しを廃して
- 杓形字種富町 成田光義様から 母 成田 薫様の香典返しを廃して
- 札幌市手稲区曙 吉田喜見男様から 父 吉田茂春様の香典返しを廃して
- 杓形字日出町 長谷川道子様から 母 三宮キエ様の香典返しを廃して
- 仙法志字御崎 檜森カネ様から 夫 檜森義正様の香典返しを廃して
- 仙法志字御崎 檜森輝子様から 夫 檜森正吉様の香典返しを廃して
- 仙法志字御崎 三浦輝敏様から 本人の病気見舞い返しを廃して

【利尻町社会福祉協議会】

● よせられた善意 ●

【一般寄附】

◆ 稚内市宝来2丁目4番10号
和田 崇之様より
土地 雑種地 380㎡
杓形字蘭泊89番地1

【指定寄附】

◆ 利尻町仙法志字御崎
白取 記夫様より
一金 100,000円
(特別養護老人ホーム備品購入資金)

ご厚志に対し厚くお礼申し上げます



発行:利尻町役場 編集:総務課防災広報係 印刷:(株)国境
TEL 0163-84-2345 FAX 0163-84-3553
利尻町公式ホームページ <http://town.rishiri.jp/>
Eメール bousaikouhou@town.rishiri.hokkaido.jp
(広報リシリに関するご意見ご要望は上記E-mailアドレスまでお寄せください。)



【まちの人口】 **2,297人** 世帯数 1,172世帯 男 1,110人 女 1,187人 (平成25年6月末現在)